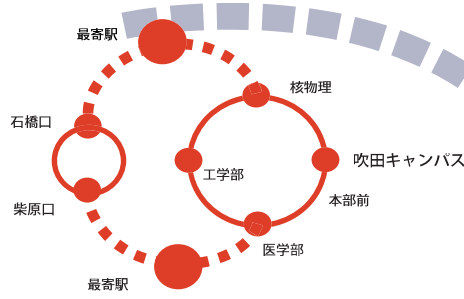


コミュニティバス



現在キャンパスの空地の至る所が駐車場と化している状況は誰も好ましいと認識しているわけではない。コミュニティバスはキャンパス内と最寄り駅を循環するもので、パークアンドライド方式などの入構規制の導入とともに検討の時期にきている。

豊中キャンパス



大学が主として行うアクションプラン

従来からの施設マネジメントであるが、その場限りの対策を行うのではなく、中長期を見据えた先見性のある施策と統合的かつ柔軟な運営が求められる。

レンタサイクル制度



キャンパス内の自転車の数は豊中において既に歩行者空間を埋め尽くすまでに至っている。本来、通勤の足としてキャンパス内の移動手段として、最適な乗り物であるはずのものが、その量の多さと駐輪スペースの少なさから問題となっている。レンタサイクル制度の導入によって必要な場所に必要だけの自転車を利用できるようにその循環のシステムを考えて配置し、キャンパス内における自転車の総量を規制する。

ユーザー参加型点検評価



学生や教員が普段利用する研究棟内を定期的に点検するキャンパスパトロールや点検評価チェックシート、利用者アンケートによるデータを公開することで定期的に改善提案を汲み上げ、リニューアルにつなげていくことが重要である。



サポート型（参加・提案型）アクションプラン

学生や教職員などの活動による、大学組織が直接的に関わらない学内NG的なマネジメントの形態。大学としてこれらを支援していくことで、費用対効果の高い維持管理機能を期待できるとともに、大学運営への参加意識と大学に対する誇り・愛着を高める効果や、学内・地域コミュニティの醸成効果を期待することができる。また学生、教職員の参加によるデザイン検討や自発的なマネジメント提案があればそれを支援したり支援するなど、継続的に意見を汲み上げてゆくしくみが求められる。

地域、社会、産業と連携していくためのアクションプラン

サテライトキャンパス、インターンシップ、ベンチャーイノベーションを展開しながら地域への様々な働きかけや施設開放 地域からの提案やキャンパス計画への参画などの相互交流をはかりながら取り組んでゆくべき課題である。行政の協働や、都市計画においてキャンパスの役割を位置づけることも考えられる。

回遊散策路の構築と開放

施設の開放と防犯安全対策は矛盾しやすい条件である。学内の危険な場所に適切な対策を講じるとともに、日常の点検評価が重要である。コミュニティや人の目の存在もまた、物理的対策と両輪をなすものである。



アート・インスタレーションイベント

オープンキャンパスや大学祭に合わせて実施し、キャンパスを地域に開放する。また地域の芸術家の協力を求めるとともに、先ではビエンナーレ形式で優秀な若手芸術家を表彰する場を提供する。



大学のシンボルの形成

アンケートによれば現在のキャンパスには阪大をイメージできるような施設や場所が乏しく、シンボルになるものを望む声も多く見られる。それには単に施設を建設するのではなく、適塾や懐徳堂、湯川記念室など阪大にゆかりのある資源を如何に活用するかが重要である。とりわけ大学の歴史や伝統的資源を集約し、広報していくことが望まれる。



キャンパスマップ整備

生態系マップ、アートマップ、ハザードマップ等の整備や絵葉書の作成、販売等を通して大学の現状を把握し、広報に繋げる。



待兼里山学校／千里竹林学校

キャンパスの自然豊かな特性を生かし、動植物や農林業に詳しい地域住民や学生、教職員らのボランティアを募り、キャンパス内を広く市民学習の場として開放し、イベント等を支援する。



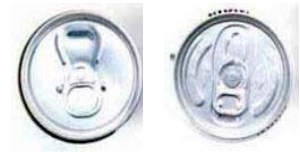
コミュニティーガーデン

リザーブ用地や荒れている既存の植栽部分などを学内外の有志にレンタル・アドプトすることで美しい庭園を再生させる。



リサイクルクラブ

大学生協や環境資源委員会の支援
1014000sの導入、フリーマーケット
バザー等のイベント支援



学内生態系保全醸成プログラム

火を使って良いルール、木を切って良いルール、剪定のルール策定、植栽計画コード、里山形成プログラム、虫育成の可能性検討などが考えられる。



キャンパスレンジャー

大学キャンパスはアンケートでも指摘されているように、維持管理が適切に行われているとはいえない状況である。これは単に環境美化に要する経費の問題だけではない。学生や教職員の環境美化に対する高い意識が必要であろう。キャンパスレンジャーは学生や教職員が有償ボランティアとして組織し、パトロール、屋外清掃、大学来訪者へのキャンパスツアー、キャンパス改善提案など幅広い活動を行うもので、自ら率先して環境美化を行うことで、参加者はもとより、その活動を見る者への啓蒙にもなり得ると考えられる。また大学側も積極的に支援することが望まれる。授業の課題として取り組むことも考えられる。

環境美化経費の調査について

1. 平成15年度 大阪大学建物清掃及び構内除草・剪定経費

内容区分	清掃			除草・剪定			備考
	調達発注	学部発注	計	調達発注	学部発注	計	
園地							
吹田園地	57,713	5,484	63,197	16,733	10,207	26,940	
石橋園地	41,497	1,752	43,249	7,702	959	8,661	
病院	0	123,000	123,000	0	1,513	1,513	医学部附属病院及び歯学部・附属病院
その他	700	348	1,048	1,167	0	1,167	
合計	99,910	130,584	230,494	25,602	12,679	38,281	